

シグマ研究委員会

昭和56年度 第3回運営委員会議事録

日 時 昭和56年7月10日(金) 13:30~17:30
場 所 原研東海研 研2-322号室
出席者 原田(委員長, 原研), 飯島(NAIG), 関(MAPI),
塚田(日大), 中嶋(法大), 松延(住友原工),
田中, 五十嵐, 菊池(原研)
オブザーバ: 梶山(東北大), 松本, 中川(庸), 浅見(原研)

配布資料

1. 第3回運営委員会議題
2. 第2回運営委員会(56. 5. 22)議事録(案)
3. 本委員会(53. 6. 5)議事録(案)
4. JENDL-2の現状
5. Workshop on Intercomparison of methods used to determine average parameters from resolved resonance parameters.
6. Meetings planned by the IAEA/NDS
7. Specialists' Meeting on Fast Neutron Scattering on Actinide Nuclei
8. Actions endorsed at the 22nd NEANDC Meeting
9. Summary Record of the 22nd NEANDC Meeting
10. NEANDC Action list メモ
11. 1981年核データ研究会(案)
12. 原子力学会誌シグマ委2年報執筆のお願い

議 事

1. 前回(56. 5. 22)議事録確認
資料(2)により確認を行った。

2. 本委員会(5.6.6.5)議事録確認

本委員会の議事録確認は運営委員会で行うことになっていることから、資料(3)により確認を行い了承された。これに関連して、原田氏より医学用核データの調査のため、アンケート項目等のチェックを関係学会の人に依頼したことの報告があった。

3. 学会特別会合の議題

原子力学会の秋の分科会での特別会合の議題をどうするかについて検討を行い、その結果、座長は神田氏(九大)、講演には(1)ガンマ線スペクトル測定(北沢氏, 東工大, 45分)、(2)NEACRP報告(弘田氏, 原研, 20分)、(3)FNSの現状(中村氏, 原研, 40分)、(4)OKTAVIANの現状(住田氏, 阪大, 40分)、(5)事務局報告(5分)とすることにした。

4. 原子力シンポジウムのテーマ

来年2月の原子力総合シンポジウムのテーマについて審議を行い、基調テーマとして「原子炉外核燃料施設での臨界安全」がとり挙げられ、企画委へ出して議論してもらうことにした。

5. JENDL-2の対策

JENDL-2の編集の現状について中川氏より資料(4)を用いて説明があった。続いて五十嵐氏より、中川氏が不在の間の核データセンターでのデータ編集作業のやり方について説明があり、協力の要請があった。その後で、JENDL-2データ評価の問題点について実例をもとに議論が行われた。

6. 81年研究会

関氏より資料(11)を用いて、本日の午前中に行った検討会での結果について説明があり、議論を行った。期日は11月24日、25日とすることにした。また、研究会の内容については出された意見等を参考にして検討委で改めて検討することにした。

7. 2年報作成

54年度・55年度の2年報の執筆についての案（資料(12)）の説明が菊池氏よりあり了承された。原稿の締切りは9月22日、内容は各専門部会の活動状況の他、トピックスとしてJENDL-2の作成、崩壊熱の研究を採り上げることになっている。

8. 国際協力関係

(i) 米国とのデータおよび計算コードの交換について

五十嵐氏より次のような報告があった。データや計算コードの交換を米国の研究者と直接に行う話があるが、これらの交換はすべてNEAデータベースを通して行うようにしたい。

(ii) 将来の国際会合について

五十嵐氏から資料(6)によりIAEA主催で近い将来行われる国際会合の説明があった。また、資料(5)によりNEAデータベースで行われる共鳴パラメータに関するワークショップの紹介があった。また、五十嵐氏が、Specialists' Meeting on Fast Neutron Scattering on Actinide Nuclei（資料(7)）のプログラム委員になったことが報告された。

(iii) NEANDCのaction listの検討

五十嵐氏よりNEANDCの第22回会合の議事録（資料(9)）およびaction list（資料(8)）、action listのメモ（資料(10)）の説明があり、コメントがあったらなるべく早く出して欲しいとの要請があった。

(iv) Newsletter類へのcontributionについて

五十嵐氏よりNewsletter類への対応をどうしたらよいか検討しておいて欲しいとの話があった。

9. 事務局からの報告および提案

五十嵐氏より次のような報告および提案があった。

(i) 核データ専門部会長を交代して欲しい。

(ii) 監査小委員会に原研の委員がないので次回に推せんしたい。

(iii) 核データセンターの長期計画は regional center との関連で検討しなければならない時期に来ているので考えておいて欲しい。

次回は 8 月 28 日(金) 13 : 30 より東京本部で行う予定。